

報告第 7 号

令和 7 年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会事業計画並び
に予算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 7 年度一
般財団法人宇治市文化財愛護協会事業計画並びに予算について、別
紙のとおり報告する。

令和 7 年 6 月 6 日提出

宇治市長 松 村 淳 子

令和7年4月10日

宇治市長 松 村 淳 子 様

一般財団法人宇治市文化財愛護協会
理事長 吉 水 利



令和7年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会
事業計画並びに収支予算の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市文化財愛護協会の理事会において別添のとおり承認されましたので報告いたします。

議案第 1 号

令和 7 年度事業計画及び収支予算について

令和 7 年度事業計画及び収支予算について、承認を求める。

令和 7 年 3 月 2 5 日提出・可決

一般財団法人宇治市文化財愛護協会
理事長 吉 水 利 明

提案理由

定款第 7 条第 1 項に基づき、令和 7 年度の事業計画及び収支予算について、理事会の承認を得るものです。

一般財団法人 宇治市文化財愛護協会

令和7年度事業計画

I 令和7年度事業計画の概要

一般財団法人宇治市文化財愛護協会では、令和7年度事業として、定款に定める法人の目的である「宇治市の歴史的風土・自然環境の保護育成のため、ひろく文化財愛護、及び生活環境の保全に努め、もって市民の文化の向上に寄与すること」を達成するため、

① 文化財の調査・研究・刊行及び保存管理に関する事業 ②自然環境の調査・研究保全に関する事業 ③文化教養の向上に関する事業 ④文化財愛護の普及に関する事業 を、四つの主要な柱に据え、次に掲げる事業を実施する。

- 1 宇治市内で伝承される祭事の見学と講義
- 2 宇治市内の史跡、古跡、道標等の保全活動
- 3 各地の文化財や自然を訪ね、その保存・保全の重要性と今後の方向性を学ぶ
- 4 伝統芸能の鑑賞
- 5 宇治市内の各種団体により実施される文化財保護や自然環境の保全に関する事業への協力、参加
- 6 広報紙、機関誌等の発行

※ すべての事業について、会員をはじめ、広く市民に周知を図るとともに、参加を働きかけ、多くの人に文化財保護活動の大切さを認識してもらえよう、事業の推進を図ることとする。

Ⅱ 令和7年度事業計画

1 文化財の調査・研究・刊行及び保存管理に関する事業

① 【大幣神事見学会】

日 時 令和7年6月8日（日）10：00～12：00

内 容 旧宇治郷の祭り。大幣殿の祝詞奏上に始まり、縣通り、新町通り、本町通りの三つの通りを中心に行われる行事。縣神社内の町内集会所にて行事のあらましを聞いた後、行列に随行し、講師の解説を聞きながら行事を見学する。大幣を中心に行列が組まれ、旧宇治郷を歩き厄を集めた大幣は神社に戻ると直ちに壊され、宇治川に投げ捨てられる。また、一ノ坂では馳馬神人が馬馳せを行うなど、今日では見られなくなった見ごたえのある民俗行事である。この祭りは、宇治市の無形民俗文化財に指定されており、見学することにより見識を深める。

② 【サテキャンからはじまる宇治の碑めぐり～あっち、こっち、どっち？】

日 時 パネル展示 令和7年11月11日（火）～11月30日（日）（予定）

内 容 京都文教大学と本会が提携し、文化財愛護の精神を育む事業を展開する。本会が発行する「新宇治の碑」をもとに、宇治市内に点在する石碑や道標等を紹介するパネル展示を行う。令和7年度は、木幡の碑のパネルを展示する。

場 所 京都文教大学サテライトキャンパス（宇治橋通り）

③ 【第79回歴史・文化財散歩】

日 時 令和7年5月23日（金）

内 容 本会が発行する「宇治の散歩道」を活用して、市内の歴史散策を行い、宇治の豊かな歴史や文化財を学ぶ。

今年は、槇島町の歴史・文化財を学ぶ。

場 所 藪場堤跡、槇島城跡、釣月庵跡等

④ 【第80回歴史・文化財散歩】

日 時 令和7年9月26日（金）（予定）

内 容 奈良市奈良町地域にある史跡を巡り、奈良町に関する歴史を研修する。

場 所 頭塔、奈良町にぎわいの家、大乘院庭園、元興寺極楽坊等

⑤ 【宇治十帖早蕨の説明版移設】

平成18年に設置した早蕨の説明版（駒札）が、道の角にあるため車が当たり傾いているという指摘があり、安全確保のため場所を移設する。

⑥ 【宇治七名園の講演と七名園巡り】

室町時代から存する宇治茶の七名園について、昭和の初めころに旧宇治町が碑（石柱）を設置しているが、近年の開発等で3か所が失われていた。これらについて令和4年度から順次建立し、令和6年度に七か所の碑が揃ったので、これを記念して講演会と見学会を開催し、七名園をはじめ宇治茶の歴史を学び、宇治茶について見識を深める。

《講演》

日 時 令和7年6月（予定）

場 所 ゆめりあうじ

講 師 坂本博司氏（元宇治市歴史資料館長）

《七名園巡り》

日 時 令和7年7月（予定）

講 師 石崎利壽理事

2 自然環境の調査・研究保存に関する事業

① 【自然観察会～神戸市立森林植物園を訪ねて】

日 時 令和7年5月（予定）

内 容 神戸市立森林植物園は、市街地から至近の六甲山地の一角に、自然を最大限活用し、生きた植物本来の姿を樹林として鑑賞できる広大な植物園となっています。園内には約1,200種の本木植物を中心に、原産地別に自然生態を生かした樹林として植栽展示されている。また、アジサイやつつじ・シャクナゲ等四季の花を鑑賞できる花木園等があり、植物の中で自然を感じ、観察する。

② 【クリーン宇治運動】

日 時 令和7年11月 9:00～11:00（予定）

令和8年 3月 9:00～11:00（予定）

内 容 自然豊かで、二つの世界遺産がある宇治を、観光客が増える秋や春のシーズンを前に、宇治の各種団体で組織する「クリーン宇治運動推進協議会」に本会も参画し、清掃活動を行う。

場 所 本会は、宇治川塔の島、中の島周辺を担当する。

③ 【視察研修 淡路島の史跡を訪ねて】

日 時 令和7年10月（予定）

内 容 淡路島は、瀬戸内海最大の島で、本州（神戸）と四国を結ぶ経由地であるとともに、漁業などの産業でも知られている。淡路島の北淡震災記念公園、高田屋嘉兵衛公園、洲本城などを訪ね地域の歴史を研修する。

3 文化教養の向上に関する事業

① 【第35回小・中学生文化財見学会】

日 時 令和7年11月（予定）

内 容 小・中学生と保護者を対象に、宇治市の歴史や市内に残されている文化財について学んでもらう場として実施する。

この見学会では、参加者から感想文を募り選考のうえ、宇治市長賞、宇治市文化財愛護協会理事長賞を贈呈する。

なお、この事業は、宇治市及び宇治市教育委員会との共催事業として実施する。

場 所 黄檗山万福寺（予定）

令和6年に国宝指定された万福寺の法堂、大雄宝殿、天王殿の三棟の建物を見学し、文化財への愛着を深める。

② 【源氏物語ミュージアムと共催事業】

例年通り源氏物語ミュージアムとの共催事業に取り組む。

古典芸能に接する機会を作り、文化創造と生涯学習に関する体験型教室を令和元年度より実施している。

内 容 詳細は未定。古典芸能、文学等を題材に今後調整。

③ 【源氏ろまん事業への協力】

宇治市が実施している「源氏ろまん事業」は、「源氏物語の世界を伝える」ことなど、市民及び観光客に宇治の歴史・文化等の魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として取り組まれている。源氏ろまん事業では様々な事業に取り組まれているが、その中の「宇治田楽まつり」を後援し取組に協力する。

4 文化財愛護の普及に関する事業

① 【「会報」発行】

発行日 110号⇒令和7年6月

111号⇒令和7年10月または11月

内 容 本会の活動内容や会員の作品等を掲載し、会員及び関係機関に送付するとともに、公共施設にも配布して本会活動への理解と協力を求め、活動への参加を呼びかける。

② 【「文愛協だより」発行】

発行日 4月、8月、1月の年3回発行

内 容 本会の活動内容（事業予定、事業報告等）を主な内容とし、会員に配布するとともに、公民館等の公共施設に配架し、広く市民に活動内容等の周知を図り、事業への参加を呼びかける。

③ 【文化財防火研究会への参加】

毎年１月２６日の「文化財防火デー」に伴い、文化財関係者が一堂に会し、文化財を火災など災害から護り、より一層の文化財愛護思想の普及を図ることを目的に行われる「文化財防火研究会」に参加する。

内 容 消防訓練（文化財・消防用設備等視察）と防火懇談会

参加者 文化財施設関係者、宇治警察署、宇治市教育委員会、宇治市消防本部、
宇治市消防団等

令和7年度 一般財団法人 宇治市文化財愛護協会

収支予算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	350	416	△66	
自主事業収益	350	416	△66	
受取会費	180	180	0	
受取会費	180	180	0	
受取補助金等	50	50	0	
受取市受託金	50	50	0	
受取寄付金等				
受取寄付金				
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	581	647	△66	
(2) 経常費用				
事業費	1,541	1,838	△297	
旅費交通費	560	607	△47	
通信運搬費	64	57	7	
什器備品費				
消耗品費	94	108	△14	
印刷製本費	437	323	114	
賃借料(地代家賃)	96	96	0	
保険料	2	5	△3	
公租公課	20	20	0	
諸謝金	144	120	24	
支払負担金	9	9	0	
支払助成金				
支払手数料	1	2	△1	
使用料	64	44	20	
顕彰費	50	447	△397	
棚卸高				
雑費				
管理費	150	150	0	
役員報酬	100	100	0	
会議費	20	20	0	
旅費交通費	5	5	0	
通信運搬費			0	
什器備品費				
消耗品費	10	10	0	
印刷製本費	10	10	0	
賃借料				
支払負担金				
委託費				
支払手数料	5	5	0	
経常費用計	1,691	1,988	△297	
当期経常増減額	△1,110	△1,341	231	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	△1,110	△1,341	231	
一般正味財産期首残高	4,630	5,531	△901	
一般正味財産期末残高	3,520	4,190	△670	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	6,520	7,190	△670	